

一人ひとりを大切にする**教育**を目指して

個性を生かす教育推進事業

子どもたち一人ひとりの個性に応じたきめ細かな教育をテーマに、市では「成田市個性を生かす教育推進事業」を実施しています。8年目を迎えた今年は、総勢53人の少人数学習推進教員と健康推進教員が市内の小中学校で活躍中。今日も教室から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。様子をのぞいてみましょう。

「授業が分かりやすく 楽しみなったよ」

1クラスを児童・生徒の習熟度などにより数クラスに分けて授業を行う「少人数学習」や、教科担任などと2人で1クラスの授業を行う「ティームティーチング」。これらの現場で活躍しているのが少人数学習推進教員です。

少人数学習は、発表・板書のチャンスが増えることで、児童・生徒一人ひとりが積極的に授業に参加できるようになることが大きな特徴。ティームティーチングは多くの子どもに声掛けできるので、子どもたちの変化に機敏に対応し、疑問点を解消してあげたり、

そのためのアドバイスをしたりできます。

いずれも子どもたちが生来もっている知的好奇心をうまく育ててあげることに工夫が凝らされており「自分の理解度に合った授業を受けられる」「授業中分からないことをすぐに質問できる」「たくさん発表できる」など、子どもたちの評判も上々です。

授業が終わった後も、子どもたちとの連絡ノートを作り学習内容の疑問点や学校生活の悩みごとを共有するなど、少人数学習推進教員の仕事は授業だけではなく、常に一人ひとりの個性に応じたきめ細かな学習環境を作ることを目指しています。





保健室では先生の笑顔が一番の薬

保健室は 児童・生徒の癒やしの場

小中学生のころはとても多感な時期であり、友だちのふとした振る舞いで傷ついたり悩んだりすることも多いものです。健康推進教員は保健室を子どもたちの癒やしの空間とすべく、養護教諭と協力して活動しています。

一方で、パワーあふれる活動的な子どもたちにはけががつきもの。素早くけがの処置をし、応急手当の方法なども指導します。健康推進教員は、心身両面から子どもたちの学校生活をサポートする影の立役者の存在です。



楽しくおしゃべりしながら給食タイム

給食や部活動も 一緒に

推進教員は授業だけではなく、ホームルームや休み時間ももちろん、給食も一緒に食べ、部活動や委員会活動などにも参加します。年齢が近いということもあって、子どもたちにとって相談しやすいよき「お兄さん」「お姉さん」的な存在でもあるようです。

若くて情熱あふれる推進教員たちは、学校の人気者。ベテランの先生方にもいい意味の刺激を与えているようです。教室、職員室にとどまらず、学校全体に活気を与える推進教員が、今日も成田の教育現場に爽やかな風を吹かせています。

※くわしくは学務課（☎20-15881）へ。



大栄中学校
少人数学習推進教員
山田 直人 先生

ティームティーチングで行う数学の時間は多くの生徒に声掛けし「何でそうなるのか」原因を考えさせるように心掛けています。優しいだけではなく指摘すべきところは指摘できるよう、生徒との距離のとり方が今後の課題。明るくて素直な子どもたちに囲まれて、毎日楽しく学校生活を送っています。

遠山中学校
健康推進教員
實川 智子 先生

子どもたちの話をよく聞いてあげることを意識しています。子どもたちとふれあうのは主に掃除の時間や休み時間など、廊下や保健室で。歳も比較的近いので話しやすいのではないかと思います。養護教諭から経験談を聞いて日々勉強中。自分が養護教諭になったときに生かしていきたいです。



少人数学習推進教員&健康推進教員インタビュー



美郷台小学校
少人数学習推進教員
丹羽 吾郎 先生

1・2年生を受け持つことが多いので、丁寧な板書を心掛けています。部活動は陸上部を担当。毎日のように、子どもたちと一緒に体を動かしています。個人の能力を把握し、一人ひとりに応じた指導をすること、子どもたちに勉強を好きになってもらうことが目標です。

本城小学校
少人数学習推進教員
大野 香菜 先生

授業では、子どもたち一人ひとりを見てふれあうことと、学習課題を一緒に作り共有することを心掛けています。ティームティーチングなどの打ち合わせは、担当の先生と休み時間や放課後に。今後のテーマは、子どもたちとより多くの時間、一緒に学んだり遊んだりすることです。



求む！ 熱意ある 推進教員

市教育委員会では、来年度の「少人数学習推進教員」と「健康推進教員」を募集します。採用期間は、平成20年4月1日～21年3月31日です。募集要項は「広報なりた」12月15日号でお知らせします。あなたの力を教育現場で発揮してみませんか。